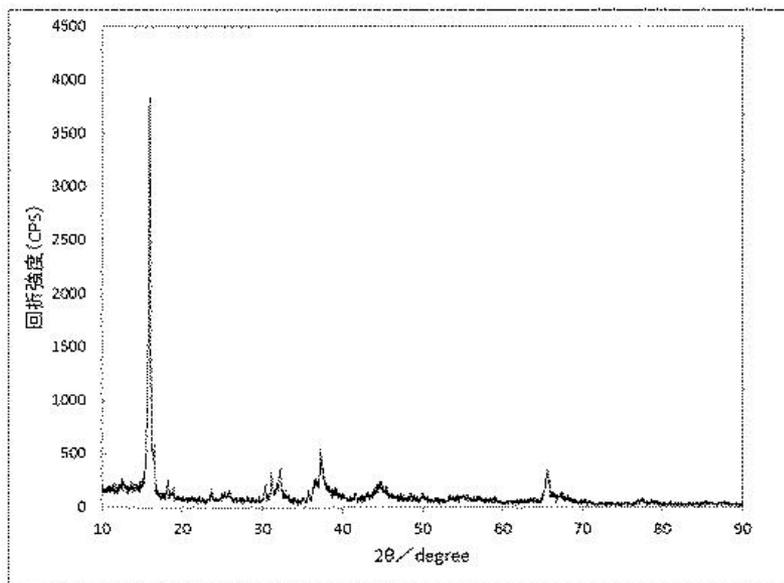


## 廃棄物処理

## 海中でも金属の吸着が阻害されにくい金属吸着材

発明の名称	金属吸着剤並びにそれを用いた金属吸着用加工品、金属吸着用設備及び金属除去方法		
出願人/権利人	富士チタン工業株式会社	発明者	向井 暁
出願日	平成29年12月5日	出願番号	2017-233231
公開番号	2019-98264	特許番号	-
法的状態	出願中		

## 代表図

実施例3の $\text{Na}_2\text{Mn}_3\text{O}_7$ の粉末X線回折パターン

## 発明の概要

金属吸着剤とそれを用いた金属吸着用加工品、金属吸着用設備及び金属除去方法

## 特徴

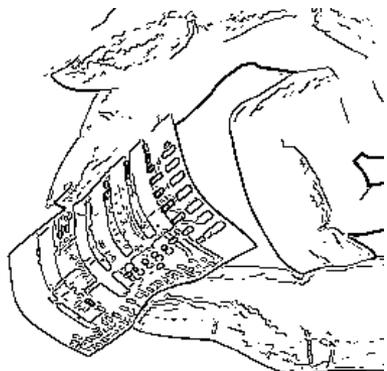
本発明の $\text{Na}_2\text{Mn}_3\text{O}_7$ からなる金属吸着剤は、ナトリウム等を含む海水中であっても、ストロンチウム等の金属の吸着が阻害されにくく、優れた金属吸着能を有している。例えば、海水中に含まれる金属、とりわけ、ストロンチウムの除去に有効である。そのため本発明の $\text{Na}_2\text{Mn}_3\text{O}_7$ からなる金属吸着剤は、例えば、放射性金属の除染による水質改善や土壌改善等の分野で特に有効である。

また、金属吸着剤は短時間で大量に製造できるため、低コストで単位時間当たり製造生産性が高い。除染のみならず、金属吸着に関する様々な技術分野での利用及び応用も期待できる。

関連分野

業務用機械、電気機械、エネルギー、建設・土木

# 応用の可能性



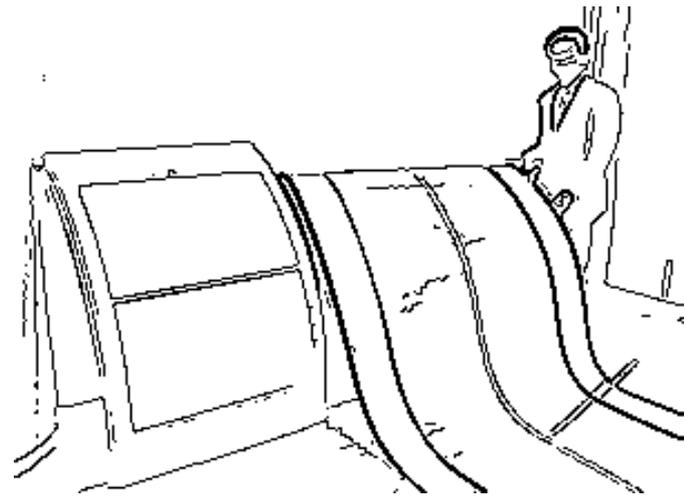
エレクトロニクス



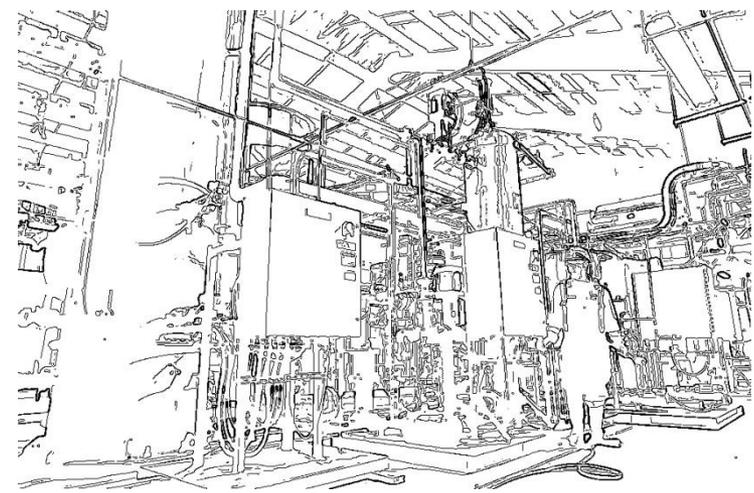
自動車



ロボット



エネルギー



環境リサイクル

など

## 応用の可能性

- ・エレクトロニクス
- ・自動車
- ・ロボット
- など
- ・エネルギー
- ・環境リサイクル

## 本技術の活用が見込める企業の一例

- ・株式会社アルバック
- ・三菱マテリアル株式会社
- ・川崎重工業株式会社
- ・三菱重工業株式会社
- ・ダイハツディーゼル株式会社
- ・DOWAエコシステム株式会社
- ・JX金属株式会社
- ・大阪ガス株式会社
- ・株式会社アイザック
- など

## 富士チタン工業株式会社の本発明に関する最新動向

- ・富士チタン工業株式会社のホームページ( <https://www.fuji-titan.co.jp/> )には、本件特許に関連する情報は見受けられない。